



安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

| | | | |
|-------|------------|------|------------|
| SDS番号 | 21-2394-1 | 版 | 10.01 |
| 発行日 | 2024/01/17 | 前発行日 | 2023/03/15 |

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M[®] 強力一番プラス 8484

3M スtockナンバー

JS-4000-0013-4

7010720033

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

自動車の天井への断熱材の接着

1.3. 会社情報

| | |
|------|------------------------|
| 供給者 | スリーエム ジャパン株式会社 |
| 所在地 | 本社 東京都品川区北品川6-7-29 |
| 担当部門 | オート・アフターマーケット 製品事業部技術部 |
| 電話番号 | 042-779-2185 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

エアゾール： 区分1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分2A

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分3

水生環境有害性 短期（急性）： 区分2

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分2

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

炎 感嘆符 環境

ピクトグラム



危険有害性情報

| | |
|------|-------------------|
| H222 | 極めて可燃性の高いエアゾール |
| H229 | 高压容器：熱すると破裂のおそれ |
| H319 | 強い眼刺激 |
| H336 | 眠気又はめまいのおそれ |
| H411 | 長期継続的影響により水生生物に毒性 |

注意書き

一般：

| | |
|------|----------------------------------|
| P102 | 子供の手の届かないところに置くこと。 |
| P101 | 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。 |

安全対策

| | |
|-------|----------------------------------|
| P210A | 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 |
| P211 | 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。 |
| P251 | 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。 |
| P261 | 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 |
| P271 | 野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 |
| P264 | 取扱後はよく洗うこと。 |
| P273 | 環境への放出を避けること。 |

応急措置

| | |
|--------------------|--|
| P304 + P340 | 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態を確保すること。 |
| P305 + P351 + P338 | 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 |
| P337 + P313 | 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。 |
| P312 | 気分が悪いときは医師に連絡すること。 |
| P391 | 漏出物を回収すること。 |

保管

| | |
|-------------|-----------------------------|
| P410 + P412 | 日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。 |
| P403 + P233 | 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 |
| P405 | 施錠して保管すること。 |

廃棄

P501 内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性

故意に濃縮した誤使用や、成分を吸引するような使用法は、健康に有害で致死的な場合がある。使用中の流出を防ぐように設計されたノズル付きの加圧密閉容器で販売される製品のため、誤えん有害性の区分は適用されない。酸素と置換され、急速な窒息を引き起こす可能性がある。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

| 成分 | CAS番号 | 重量% |
|-------------|-----------|---------|
| ジメチルエーテル | 115-10-6 | 30 - 40 |
| アセトン | 67-64-1 | 17 |
| シクロヘキサン | 110-82-7 | 16 |
| クロロプレンゴム1 | 営業秘密 | 1 - 10 |
| クロロプレンゴム2 | 営業秘密 | 1 - 10 |
| アルキルフェノール樹脂 | 営業秘密 | 1 - 10 |
| 2-メチルペンタン | 107-83-5 | 6.8 |
| メチルエチルケトン | 78-93-3 | 5.5 |
| 3-メチルペンタン | 96-14-0 | 4.1 |
| 2,3-ジメチルブタン | 79-29-8 | 0.84 |
| ヘキサン | 110-54-3 | 0.48 |
| 酸化亜鉛 | 1314-13-2 | 0.18 |

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

石鹼と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

中枢神経の抑制（頭痛、目眩感、眠気、共調不能、吐き気、言語障害、目眩及び意識喪失）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：消火するために二酸化炭素又はドライケミカル消火器を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素
二酸化炭素
刺激性蒸気あるいはガス

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。火花を発生させない工具を使用すること。新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

可能であれば漏洩した容器をシールする。漏洩容器を換気フードに置いて換気する。必要に応じて、漏洩容器や内容物の収納に適した容器が準備できるまで屋外の不透性床の上で保管する。漏洩を止める。漏洩箇所を泡消火薬剤で覆う。ベントナイト、パーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。金属製の容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

密閉された換気不良の場所で使用しないこと。子供の手の届かないところに置くこと。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。裸

火又は他の着火源に噴霧しないこと。 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。 指定された個人保護具を使用する。 蒸気が地上や床をはって着火源に流れ、遠距離引火することがある。

保管

換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉しておくこと。 日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 強塩基から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

| 成分 | CAS番号 | 政府機関 | 許容濃度または管理濃度 | 備考 |
|---------------|-----------|-----------|---|------------------------------|
| 2-メチルペンタン | 107-83-5 | ACGIH | TWA : 500ppm、STEL : 1000ppm | |
| ヘキサン、すべての異性体 | 107-83-5 | JSOH OELs | TWA (8時間) : 140 mg/m ³ (40 ppm) | 皮膚 |
| ヘキサン | 110-54-3 | ACGIH | TWA : 50ppm | 皮膚吸収の危険性。 |
| ヘキサン | 110-54-3 | ISHL | TLV (8時間) : 40 ppm | |
| ヘキサン、すべての異性体 | 110-54-3 | JSOH OELs | TWA (8時間) : 140 mg/m ³ (40 ppm) | 皮膚 |
| シクロヘキサン | 110-82-7 | ACGIH | TWA : 100 ppm | |
| シクロヘキサン | 110-82-7 | JSOH OELs | TWA (8時間) : 520 mg/m ³ (150 ppm) | |
| ジメチルエーテル | 115-10-6 | AIHA | TWA:1880 mg/m ³ (1000 ppm) | |
| 不活性あるいは有害なダスト | 1314-13-2 | ISHL | TLV (計算値) (ダストとして) (8時間) : 0.025mg/m ³ | 100%と仮定して計算 |
| 酸化亜鉛 | 1314-13-2 | ACGIH | TWA (吸入性分画) : 2 mg/m ³ 、STEL (吸入性分画) : 10mg/m ³ | |
| 酸化亜鉛 | 1314-13-2 | JSOH OELs | TWA (総粉じん) (8時間) : 4 mg/m ³ ; TWA (吸入性粉じん) (8時間) : 1 mg/m ³ ; TWA (8時間) : 0.5 mg/m ³ | |
| アセトン | 67-64-1 | ACGIH | TWA:250 ppm;STEL:500 ppm | A4 : ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質 |
| アセトン | 67-64-1 | ISHL | TLV (8時間) : 500 ppm | |
| アセトン | 67-64-1 | JSOH OELs | TWA (8 hours) : 475 mg/m ³ (200 ppm) | |
| メチルエチルケトン | 78-93-3 | ACGIH | TWA : 200ppm、STEL : 300ppm | |
| メチルエチルケトン | 78-93-3 | ISHL | TLV (8時間) : 200 ppm | |

| | | | | |
|--------------|---------|-----------|--|----|
| メチルエチルケトン | 78-93-3 | JSOH OELs | TWA (8時間) : 590 mg/m ³ (200 ppm) | |
| 2,3-ジメチルブタン | 79-29-8 | ACGIH | TWA : 500ppm、STEL : 1000ppm | |
| ヘキサン、すべての異性体 | 79-29-8 | JSOH OELs | TWA (8時間) : 140 mg/m ³ (40 ppm) | 皮膚 |
| 3-メチルペンタン | 96-14-0 | ACGIH | TWA : 500ppm、STEL : 1000ppm | |
| ヘキサン、すべての異性体 | 96-14-0 | JSOH OELs | TWA (8時間) : 140 mg/m ³ (40 ppm) | 皮膚 |

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m³ : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の酸素が減少した場所に、とどまらないこと。 スプレーブースあるいは局所排気で使用する。 空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

サイドシールド付安全メガネ

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。 注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

半面形もしくは全面形面体の送気マスク(エアラインマスク)

有機ガス用マスクは使用可能時間が比較的短い。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

| | |
|---|--------------------------|
| 外観 | 液体 |
| 物理的状態: | エアゾール |
| 色 | 黄色 |
| 臭い | 溶剤 |
| 臭いの閾値 | データはない。 |
| pH | 適用しない |
| 融点・凝固点 | 適用しない |
| 沸点, 初留点及び沸騰範囲 | データはない。 |
| 引火点 | -46 °C [試験方法: クローズドカップ法] |
| 蒸発速度 | 2 なし。 [参照基準: エーテル= 1] |
| 引火性 (固体、ガス) | 適用しない |
| 燃焼点 (下限) | データはない。 |
| 燃焼点 (上限) | データはない。 |
| 蒸気圧 | データはない。 |
| 蒸気密度/相対蒸気密度 | データはない。 |
| 密度 | データはない。 |
| 比重 | 0.73 [参照基準: 水=1] |
| 溶解度 | 無視できるレベル。 |
| 溶解度 (水以外) | データはない。 |
| n-オクタノール/水分配係数 | データはない。 |
| 発火点 | データはない。 |
| 分解温度 | データはない。 |
| 粘度/動粘度 | データはない。 |
| 揮発性有機化合物 | データはない。 |
| 揮発分 | 85 % |
| 水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない) | データはない。 |

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。
 火花及び／ないし炎
 沸点以上の温度

混触危険物質

強酸
 強塩基
 強酸化性物質

危険有害な分解物

物質 **条件**
 知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報**ばく露による症状**

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

単純性窒息：心拍数の増加、切迫呼吸、眠気、頭痛、協調不能、判断力の変化、吐き気、嘔吐、昏睡、発作、死亡などの症状。気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。

眼に入った場合

眼への激しい刺激：発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報**特定標的臓器毒性、単回ばく露**

中枢神経機能の抑制：頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。

生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

| 名称 | 経路 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|-------------|-------------------------|-----|--------------------------------|
| 製品全体 | 皮膚 | | 利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg |
| 製品全体 | 吸入－蒸気 (4 時間) | | 利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l |
| 製品全体 | 経口摂取 | | 利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg |
| ジメチルエーテル | 吸入－ガス (4 時間) | ラット | LC50 164,000 ppm |
| アセトン | 皮膚 | ウサギ | LD50 > 15,688 mg/kg |
| アセトン | 吸入－蒸気 (4 時間) | ラット | LC50 76 mg/l |
| アセトン | 経口摂取 | ラット | LD50 5,800 mg/kg |
| シクロヘキサン | 皮膚 | ラット | LD50 > 2,000 mg/kg |
| シクロヘキサン | 吸入－蒸気 (4 時間) | ラット | LC50 > 32.9 mg/l |
| シクロヘキサン | 経口摂取 | ラット | LD50 6,200 mg/kg |
| 2-メチルペンタン | 皮膚 | | LD50 推定値 > 5,000 mg/kg |
| 2-メチルペンタン | 吸入－蒸気 | | LC50 推定値 > 50 mg/l |
| 2-メチルペンタン | 経口摂取 | | LD50 推定値 > 5,000 mg/kg |
| メチルエチルケトン | 皮膚 | ウサギ | LD50 > 8,050 mg/kg |
| メチルエチルケトン | 吸入－蒸気 (4 時間) | ラット | LC50 34.5 mg/l |
| メチルエチルケトン | 経口摂取 | ラット | LD50 2,737 mg/kg |
| 3-メチルペンタン | 皮膚 | | LD50 推定値 > 5,000 mg/kg |
| 3-メチルペンタン | 吸入－蒸気 | | LC50 推定値 > 50 mg/l |
| 3-メチルペンタン | 経口摂取 | | LD50 推定値 > 5,000 mg/kg |
| クロロブレンゴム1 | 皮膚 | | LD50 推定値 > 5,000 mg/kg |
| クロロブレンゴム1 | 経口摂取 | | LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg |
| クロロブレンゴム2 | 皮膚 | | LD50 推定値 > 5,000 mg/kg |
| クロロブレンゴム2 | 経口摂取 | ラット | LD50 > 20,000 mg/kg |
| 2,3-ジメチルブタン | 皮膚 | | LD50 推定値 > 5,000 mg/kg |
| 2,3-ジメチルブタン | 吸入－蒸気 | | LC50 推定値 > 50 mg/l |
| 2,3-ジメチルブタン | 経口摂取 | | LD50 推定値 > 5,000 mg/kg |
| ヘキサン | 皮膚 | ウサギ | LD50 > 2,000 mg/kg |
| ヘキサン | 吸入－蒸気 (4 時間) | ラット | LC50 170 mg/l |
| ヘキサン | 経口摂取 | ラット | LD50 > 28,700 mg/kg |
| 酸化亜鉛 | 皮膚 | | LD50 推定値 > 5,000 mg/kg |
| 酸化亜鉛 | 吸入－粉塵 /ミスト (4 時間) | ラット | LC50 > 5.7 mg/l |

| | | | |
|------|------|-----|--------------------|
| 酸化亜鉛 | 経口摂取 | ラット | LD50 > 5,000 mg/kg |
|------|------|-----|--------------------|

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

| 名称 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|-------------|----------|---------|
| アセトン | マウス | わずかな刺激 |
| シクロヘキサン | ウサギ | 軽度の刺激 |
| 2-メチルペンタン | 専門家による判断 | 軽度の刺激 |
| メチルエチルケトン | ウサギ | わずかな刺激 |
| 3-メチルペンタン | 専門家による判断 | 軽度の刺激 |
| クロロブレンゴム2 | ヒト | 刺激性なし |
| 2,3-ジメチルブタン | 専門家による判断 | 軽度の刺激 |
| ヘキサン | ヒト及び動物 | 軽度の刺激 |
| 酸化亜鉛 | ヒト及び動物 | 刺激性なし |

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

| 名称 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|-------------|----------|---------|
| アセトン | ウサギ | 激しい刺激 |
| シクロヘキサン | ウサギ | 軽度の刺激 |
| 2-メチルペンタン | 専門家による判断 | 中程度の刺激 |
| メチルエチルケトン | ウサギ | 激しい刺激 |
| 3-メチルペンタン | 専門家による判断 | 中程度の刺激 |
| クロロブレンゴム2 | 専門家による判断 | 刺激性なし |
| 2,3-ジメチルブタン | 専門家による判断 | 中程度の刺激 |
| ヘキサン | ウサギ | 軽度の刺激 |
| 酸化亜鉛 | ウサギ | 軽度の刺激 |

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

| 名称 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|------|-------|-----------|
| ヘキサン | ヒト | 区分に該当しない。 |
| 酸化亜鉛 | モルモット | 区分に該当しない。 |

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

| 名称 | 経路 | 値又は判定結果 |
|----|----|---------|
| | | |

| | | |
|-----------|----------|--------------------|
| ジメチルエーテル | In vitro | 変異原性なし |
| ジメチルエーテル | In vivo | 変異原性なし |
| アセトン | In vivo | 変異原性なし |
| アセトン | In vitro | 陽性データはあるが、分類には不十分。 |
| シクロヘキサン | In vitro | 変異原性なし |
| シクロヘキサン | In vivo | 陽性データはあるが、分類には不十分。 |
| メチルエチルケトン | In vitro | 変異原性なし |
| ヘキサン | In vitro | 変異原性なし |
| ヘキサン | In vivo | 変異原性なし |
| 酸化亜鉛 | In vitro | 陽性データはあるが、分類には不十分。 |
| 酸化亜鉛 | In vivo | 陽性データはあるが、分類には不十分。 |

発がん性

| 名称 | 経路 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|-----------|-----------|---------|--------------------|
| ジメチルエーテル | 吸入した場合 | ラット | 発がん性なし |
| アセトン | 特段の規定はない。 | 多種類の動物種 | 発がん性なし |
| メチルエチルケトン | 吸入した場合 | ヒト | 発がん性なし |
| ヘキサン | 皮膚 | マウス | 発がん性なし |
| ヘキサン | 吸入した場合 | マウス | 陽性データはあるが、分類には不十分。 |

生殖毒性

生殖発生影響

| 名称 | 経路 | 値又は判定結果 | 生物種 | 試験結果 | ばく露期間 |
|-----------|--------|---------------------|---------|---------------------|------------|
| ジメチルエーテル | 吸入した場合 | 発生毒性区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 40,000 ppm | 器官発生期 |
| アセトン | 経口摂取 | 雄について生殖毒性は区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 1,700 mg/kg/日 | 13 週 |
| アセトン | 吸入した場合 | 発生毒性区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 5.2 mg/l | 器官発生期 |
| シクロヘキサン | 吸入した場合 | 雌について生殖毒性は区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 24 mg/l | 2 世代 |
| シクロヘキサン | 吸入した場合 | 雄について生殖毒性は区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 24 mg/l | 2 世代 |
| シクロヘキサン | 吸入した場合 | 発生毒性区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 6.9 mg/l | 2 世代 |
| メチルエチルケトン | 吸入した場合 | 発生毒性区分に該当しない。 | ラット | LOAEL 8.8 mg/l | 妊娠期間中 |
| ヘキサン | 経口摂取 | 発生毒性区分に該当しない。 | マウス | NOAEL 2,200 mg/kg/日 | 器官発生期 |
| ヘキサン | 吸入した場合 | 発生毒性区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 0.7 mg/l | 妊娠期間中 |
| ヘキサン | 経口摂取 | 雄性生殖機能に有毒 | ラット | NOAEL 1,140 mg/kg/日 | 90 日 |
| ヘキサン | 吸入した場合 | 雄性生殖機能に有毒 | ラット | LOAEL 3.52 mg/l | 28 日 |
| 酸化亜鉛 | 経口摂取 | 生殖・発生毒性の区分に該当しない。 | 多種類の動物種 | NOAEL 125 mg/kg/日 | 交配前および妊娠中。 |

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

| 名称 | 経路 | 標的臓器 | 値又は判定結果 | 生物種 | 試験結果 | ばく露期間 |
|-------------|--------|----------|--------------------|----------|----------------------|--------------|
| ジメチルエーテル | 吸入した場合 | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。 | ラット | LOAEL 10,000 ppm | 30 分 |
| ジメチルエーテル | 吸入した場合 | 心臓感受性 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | イヌ | NOAEL 100,000 ppm | 5 分 |
| アセトン | 吸入した場合 | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。 | ヒト | NOAEL 非該当 | |
| アセトン | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | ヒト | NOAEL 非該当 | |
| アセトン | 吸入した場合 | 免疫システム | 区分に該当しない。 | ヒト | NOAEL 1.19 mg/l | 6 時間 |
| アセトン | 吸入した場合 | 肝臓 | 区分に該当しない。 | モルモット | NOAEL 非該当 | |
| アセトン | 経口摂取 | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。 | ヒト | NOAEL 非該当 | 中毒ないし 乱用時 |
| シクロヘキサン | 吸入した場合 | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。 | ヒト及び動物 | NOAEL 非該当 | |
| シクロヘキサン | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | ヒト及び動物 | NOAEL 非該当 | |
| シクロヘキサン | 経口摂取 | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。 | 専門家による判断 | NOAEL 非該当 | |
| 2-メチルペンタン | 吸入した場合 | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。 | 専門家による判断 | NOAEL 非該当 | |
| 2-メチルペンタン | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | | NOAEL 非該当 | |
| 2-メチルペンタン | 吸入した場合 | 心臓感受性 | 区分に該当しない。 | イヌ | NOAEL 非該当 | |
| 2-メチルペンタン | 経口摂取 | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。 | 専門家による判断 | NOAEL 非該当 | |
| メチルエチルケトン | 吸入した場合 | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。 | 公的な分類 | NOAEL 非該当 | |
| メチルエチルケトン | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | ヒト | NOAEL 非該当 | |
| メチルエチルケトン | 経口摂取 | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。 | 専門家による判断 | NOAEL 非該当 | |
| メチルエチルケトン | 経口摂取 | 肝臓 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 非該当 | 適用しない。 |
| メチルエチルケトン | 経口摂取 | 腎臓および膀胱 | 区分に該当しない。 | ラット | LOAEL 1,080 mg/kg | 適用しない。 |
| 3-メチルペンタン | 吸入した場合 | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。 | 専門家による判断 | NOAEL 非該当 | |
| 3-メチルペンタン | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | | NOAEL 非該当 | |
| 3-メチルペンタン | 吸入した場合 | 心臓感受性 | 区分に該当しない。 | イヌ | NOAEL 非該当 | |
| 3-メチルペンタン | 経口摂取 | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。 | 専門家による判断 | NOAEL 非該当 | |
| 2,3-ジメチルブタン | 吸入した場合 | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。 | 専門家による判断 | NOAEL 非該当 | |
| 2,3-ジメチルブタン | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | | NOAEL 非該当 | |
| 2,3-ジメチルブタン | 吸入した場合 | 心臓感受性 | 区分に該当しない。 | イヌ | NOAEL 非該当 | |

| | | | | | | |
|-------------|--------|----------|--------------------|----------|-----------------|------|
| 2,3-ジメチルブタン | 経口摂取 | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。 | 専門家による判断 | NOAEL 非該当 | |
| ヘキサン | 吸入した場合 | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。 | ヒト | NOAEL 非該当 | 非該当 |
| ヘキサン | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | ウサギ | NOAEL 非該当 | 8 時間 |
| ヘキサン | 吸入した場合 | 呼吸器系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 24.6 mg/l | 8 時間 |

特定標的臓器毒性、反復ばく露

| 名称 | 経路 | 標的臓器 | 値又は判定結果 | 生物種 | 試験結果 | ばく露期間 |
|-----------|--------|-------------------|-----------|-------|------------------------|-------|
| ジメチルエーテル | 吸入した場合 | 造血器系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 25,000 ppm | 2 年 |
| ジメチルエーテル | 吸入した場合 | 肝臓 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 20,000 ppm | 30 週 |
| アセトン | 皮膚 | 眼 | 区分に該当しない。 | モルモット | NOAEL 非該当 | 3 週 |
| アセトン | 吸入した場合 | 造血器系 | 区分に該当しない。 | ヒト | NOAEL 3 mg/l | 6 週 |
| アセトン | 吸入した場合 | 免疫システム | 区分に該当しない。 | ヒト | NOAEL 1.19 mg/l | 6 日 |
| アセトン | 吸入した場合 | 腎臓および膀胱 | 区分に該当しない。 | モルモット | NOAEL 119 mg/l | 非該当 |
| アセトン | 吸入した場合 | 心臓 肝臓 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 45 mg/l | 8 週 |
| アセトン | 経口摂取 | 腎臓および膀胱 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 900 mg/kg/day | 13 週 |
| アセトン | 経口摂取 | 心臓 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 2,500 mg/kg/day | 13 週 |
| アセトン | 経口摂取 | 造血器系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 200 mg/kg/day | 13 週 |
| アセトン | 経口摂取 | 肝臓 | 区分に該当しない。 | マウス | NOAEL 3,896 mg/kg/day | 14 日 |
| アセトン | 経口摂取 | 眼 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 3,400 mg/kg/day | 13 週 |
| アセトン | 経口摂取 | 呼吸器系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 2,500 mg/kg/day | 13 週 |
| アセトン | 経口摂取 | 筋肉 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 2,500 mg/kg | 13 週 |
| アセトン | 経口摂取 | 皮膚 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 区分に該当しない。 | マウス | NOAEL 11,298 mg/kg/day | 13 週 |
| シクロヘキサン | 吸入した場合 | 肝臓 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 24 mg/l | 90 日 |
| シクロヘキサン | 吸入した場合 | 聴覚系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 1.7 mg/l | 90 日 |
| シクロヘキサン | 吸入した場合 | 腎臓および膀胱 | 区分に該当しない。 | ウサギ | NOAEL 2.7 mg/l | 10 週 |
| シクロヘキサン | 吸入した場合 | 造血器系 | 区分に該当しない。 | マウス | NOAEL 24 mg/l | 14 週 |
| シクロヘキサン | 吸入した場合 | 末梢神経系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 8.6 mg/l | 30 週 |
| 2-メチルペンタン | 吸入した場合 | 末梢神経系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 5.3 mg/l | 14 週 |
| 2-メチルペンタン | 経口摂取 | 末梢神経系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 非該当 | 8 週 |
| 2-メチルペンタン | 経口摂取 | 腎臓および膀胱 | 区分に該当しない。 | ラット | LOAEL 2,000 mg/kg | 28 日 |

| | | | | | | |
|-------------|--------|--|---------------------------|-------|-----------------------|--------|
| メチルエチルケトン | 皮膚 | 神経系 | 区分に該当しない。 | モルモット | NOAEL 非該当 | 31 週 |
| メチルエチルケトン | 吸入した場合 | 肝臓 腎臓および膀胱 心臓 内分泌系 消化管 骨、歯、爪及び/又は毛髪 造血器系 免疫システム 筋肉 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 14.7 mg/l | 90 日 |
| メチルエチルケトン | 経口摂取 | 肝臓 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 非該当 | 7 日 |
| メチルエチルケトン | 経口摂取 | 神経系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 173 mg/kg/day | 90 日 |
| 3-メチルペンタン | 吸入した場合 | 末梢神経系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 5.3 mg/l | 14 週 |
| 3-メチルペンタン | 経口摂取 | 末梢神経系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 非該当 | 8 週 |
| 3-メチルペンタン | 経口摂取 | 腎臓および膀胱 | 区分に該当しない。 | ラット | LOAEL 2,000 mg/kg | 28 日 |
| 2,3-ジメチルブタン | 吸入した場合 | 末梢神経系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 5.3 mg/l | 14 週 |
| 2,3-ジメチルブタン | 経口摂取 | 末梢神経系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 非該当 | 8 週 |
| 2,3-ジメチルブタン | 経口摂取 | 腎臓および膀胱 | 区分に該当しない。 | ラット | LOAEL 2,000 mg/kg | 28 日 |
| ヘキサン | 吸入した場合 | 末梢神経系 | 長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。 | ヒト | NOAEL 非該当 | 職業性被ばく |
| ヘキサン | 吸入した場合 | 呼吸器系 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | マウス | LOAEL 1.76 mg/l | 13 週 |
| ヘキサン | 吸入した場合 | 肝臓 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 非該当 | 6 月 |
| ヘキサン | 吸入した場合 | 腎臓および膀胱 | 区分に該当しない。 | ラット | LOAEL 1.76 mg/l | 6 月 |
| ヘキサン | 吸入した場合 | 造血器系 | 区分に該当しない。 | マウス | NOAEL 35.2 mg/l | 13 週 |
| ヘキサン | 吸入した場合 | 聴覚系 免疫システム 眼 | 区分に該当しない。 | ヒト | NOAEL 非該当 | 職業性被ばく |
| ヘキサン | 吸入した場合 | 心臓 皮膚 内分泌系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 1.76 mg/l | 6 月 |
| ヘキサン | 経口摂取 | 末梢神経系 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | ラット | NOAEL 1,140 mg/kg/day | 90 日 |
| ヘキサン | 経口摂取 | 内分泌系 造血器系 肝臓 免疫システム 腎臓および膀胱 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 非該当 | 13 週 |
| 酸化亜鉛 | 経口摂取 | 神経系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 600 mg/kg/day | 10 日 |
| 酸化亜鉛 | 経口摂取 | 内分泌系 造血器系 腎臓および膀胱 | 区分に該当しない。 | その他 | NOAEL 500 mg/kg/day | 6 月 |

誤えん有害性

| 名称 | 値又は判定結果 |
|-------------|---------|
| シクロヘキサン | 誤えん有害性 |
| 2-メチルペンタン | 誤えん有害性 |
| 3-メチルペンタン | 誤えん有害性 |
| 2,3-ジメチルブタン | 誤えん有害性 |
| ヘキサン | 誤えん有害性 |

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分2：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

| 材料 | CAS番号 | 生物種 | 種類 | ばく露 | テストエンドポイント | 試験結果 |
|-------------|----------|-------|---------------------------|-------|------------|-------------|
| ジメチルエーテル | 115-10-6 | バクテリア | 実験 | 該当なし | EC10 | >1,600 mg/l |
| ジメチルエーテル | 115-10-6 | グッピー | 実験 | 96 時間 | LC50 | >4,100 mg/l |
| ジメチルエーテル | 115-10-6 | ミジンコ | 実験 | 48 時間 | EC50 | >4,400 mg/l |
| クロロプレングム1 | 営業秘密 | 該当なし | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| クロロプレングム2 | 営業秘密 | 該当なし | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| 2,3-ジメチルブタン | 79-29-8 | 緑藻類 | 類似コンパウンド | 72 時間 | EL50 | 55 mg/l |
| 2,3-ジメチルブタン | 79-29-8 | ニジマス | 類似コンパウンド | 96 時間 | LL50 | 12 mg/l |
| 2,3-ジメチルブタン | 79-29-8 | ミジンコ | 類似コンパウンド | 48 時間 | EL50 | 3 mg/l |
| 2,3-ジメチルブタン | 79-29-8 | 緑藻類 | 類似コンパウンド | 72 時間 | NOEL | 30 mg/l |
| 2-メチルペンタン | 107-83-5 | 該当なし | 分類にデータが利用できない、あるいは | 該当なし | 該当なし | 該当なし |

| | | | | | | |
|-----------|-----------|----------------|---------------------------|-------|-------|-------------|
| | | | 不足している。 | | | |
| 3-メチルペンタン | 96-14-0 | 該当なし | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| アセトン | 67-64-1 | 藻類または他の水生植物 | 実験 | 96 時間 | EC50 | 11,493 mg/l |
| アセトン | 67-64-1 | 無脊椎動物 | 実験 | 24 時間 | LC50 | 2,100 mg/l |
| アセトン | 67-64-1 | ニジマス | 実験 | 96 時間 | LC50 | 5,540 mg/l |
| アセトン | 67-64-1 | ミジンコ | 実験 | 21 日 | NOEC | 1,000 mg/l |
| アセトン | 67-64-1 | バクテリア | 実験 | 16 時間 | NOEC | 1,700 mg/l |
| アセトン | 67-64-1 | シマミミズ | 実験 | 48 時間 | LC50 | >100 |
| シクロヘキサン | 110-82-7 | バクテリア | 実験 | 24 時間 | IC50 | 97 mg/l |
| シクロヘキサン | 110-82-7 | ファットヘッドミノウ (魚) | 実験 | 96 時間 | LC50 | 4.53 mg/l |
| シクロヘキサン | 110-82-7 | ミジンコ | 実験 | 48 時間 | EC50 | 0.9 mg/l |
| ヘキサン | 110-54-3 | ファットヘッドミノウ (魚) | 実験 | 96 時間 | LC50 | 2.5 mg/l |
| ヘキサン | 110-54-3 | ミジンコ | 実験 | 48 時間 | LC50 | 3.9 mg/l |
| メチルエチルケトン | 78-93-3 | ファットヘッドミノウ (魚) | 実験 | 96 時間 | LC50 | 2,993 mg/l |
| メチルエチルケトン | 78-93-3 | 緑藻類 | 実験 | 96 時間 | ErC50 | 2,029 mg/l |
| メチルエチルケトン | 78-93-3 | ミジンコ | 実験 | 48 時間 | EC50 | 308 mg/l |
| メチルエチルケトン | 78-93-3 | 緑藻類 | 実験 | 96 時間 | ErC10 | 1,289 mg/l |
| メチルエチルケトン | 78-93-3 | ミジンコ | 実験 | 21 日 | NOEC | 100 mg/l |
| メチルエチルケトン | 78-93-3 | バクテリア | 実験 | 16 時間 | LOEC | 1,150 mg/l |
| 酸化亜鉛 | 1314-13-2 | 液状化 | 推定値 | 3 時間 | EC50 | 6.5 mg/l |
| 酸化亜鉛 | 1314-13-2 | 緑藻類 | 推定値 | 72 時間 | EC50 | 0.052 mg/l |
| 酸化亜鉛 | 1314-13-2 | ニジマス | 推定値 | 96 時間 | LC50 | 0.21 mg/l |
| 酸化亜鉛 | 1314-13-2 | ミジンコ | 推定値 | 48 時間 | EC50 | 0.07 mg/l |
| 酸化亜鉛 | 1314-13-2 | 緑藻類 | 推定値 | 72 時間 | NOEC | 0.006 mg/l |
| 酸化亜鉛 | 1314-13-2 | ミジンコ | 推定値 | 7 日 | NOEC | 0.02 mg/l |

残留性・分解性

| 材料 | CAS番号 | 試験の種類 | 期間 | 試験の種類 | 試験結果 | プロトコル |
|----|-------|-------|----|-------|------|-------|
|----|-------|-------|----|-------|------|-------|

| | | | | | | |
|-------------|-----------|---------------|------|--------------|----------------|-----------------------|
| ジメチルエーテル | 115-10-6 | 実験 生分解性 | 28 日 | 生物学的酸素要求量 | 5 %BOD/ThOD | OECD 301D - クローズドボトル法 |
| ジメチルエーテル | 115-10-6 | 実験 光分解 | | 光分解半減期 (空气中) | 12.4 日 (t 1/2) | |
| クロロプレンゴム1 | 営業秘密 | データ不足 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| クロロプレンゴム2 | 営業秘密 | データ不足 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| 2,3-ジメチルブタン | 79-29-8 | 類似コンパウンド 生分解性 | 28 日 | 生物学的酸素要求量 | 98 %BOD/ThOD | OECD 301F |
| 2,3-ジメチルブタン | 79-29-8 | 実験 光分解 | | 光分解半減期 (空气中) | 5.1 日 (t 1/2) | |
| 2-メチルペンタン | 107-83-5 | 実験 生分解性 | 28 日 | 生物学的酸素要求量 | 93 %BOD/ThOD | OECD 301C-MITI (1) |
| 2-メチルペンタン | 107-83-5 | 実験 光分解 | | 光分解半減期 (空气中) | 6.1 日 (t 1/2) | |
| 3-メチルペンタン | 96-14-0 | 類似コンパウンド 生分解性 | 28 日 | 生物学的酸素要求量 | 93 %BOD/ThOD | OECD 301C-MITI (1) |
| 3-メチルペンタン | 96-14-0 | 実験 光分解 | | 光分解半減期 (空气中) | 6.1 日 (t 1/2) | |
| アセトン | 67-64-1 | 実験 生分解性 | 28 日 | 生物学的酸素要求量 | 78 %BOD/ThOD | OECD 301D - クローズドボトル法 |
| アセトン | 67-64-1 | 実験 光分解 | | 光分解半減期 (空气中) | 147 日 (t 1/2) | |
| シクロヘキサン | 110-82-7 | 実験 生分解性 | 28 日 | 生物学的酸素要求量 | 77 %BOD/ThOD | OECD 301F |
| シクロヘキサン | 110-82-7 | 実験 光分解 | | 光分解半減期 (空气中) | 4.1 日 (t 1/2) | |
| ヘキサン | 110-54-3 | 実験 生態濃縮 | 28 日 | 生物学的酸素要求量 | 100 %BOD/ThOD | OECD 301C-MITI (1) |
| ヘキサン | 110-54-3 | 実験 光分解 | | 光分解半減期 (空气中) | 5.4 日 (t 1/2) | |
| メチルエチルケトン | 78-93-3 | 実験 生分解性 | 28 日 | 生物学的酸素要求量 | 98 %BOD/ThOD | OECD 301D - クローズドボトル法 |
| 酸化亜鉛 | 1314-13-2 | データ不足 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |

生体蓄積性

| 材料 | CAS番号 | 試験の種類 | 期間 | 試験の種類 | 試験結果 | プロトコル |
|-----------|----------|---------------------------|------|-------|------|-------|
| ジメチルエーテル | 115-10-6 | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| クロロプレンゴム1 | 営業秘密 | 分類にデータが利用でき | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |

| | | | | | | |
|-------------|-----------|---------------------------|------|---------------|-------|---|
| | | ない、あるいは不足している。 | | | | |
| クロロプレングム2 | 営業秘密 | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| 2,3-ジメチルブタン | 79-29-8 | モデル 生態濃縮 | | 生物濃縮係数 | 35 | Catalogic [™] |
| 2,3-ジメチルブタン | 79-29-8 | 実験 生態濃縮 | | オクタノール/水 分配係数 | 3.42 | |
| 2-メチルペンタン | 107-83-5 | モデル 生態濃縮 | | 生物濃縮係数 | 47 | Catalogic [™] |
| 2-メチルペンタン | 107-83-5 | モデル 生態濃縮 | | オクタノール/水 分配係数 | 3.21 | EPI suite [™] |
| 3-メチルペンタン | 96-14-0 | モデル 生態濃縮 | | 生物濃縮係数 | 81 | Catalogic [™] |
| 3-メチルペンタン | 96-14-0 | 実験 生態濃縮 | | オクタノール/水 分配係数 | 3.6 | |
| アセトン | 67-64-1 | 実験 BCF-その他 | | 生物濃縮係数 | 0.65 | |
| アセトン | 67-64-1 | 実験 生態濃縮 | | オクタノール/水 分配係数 | -0.24 | |
| シクロヘキサン | 110-82-7 | 実験 BCF - 魚 | 56 日 | 生物濃縮係数 | 129 | OECD305-生体濃縮度試験 |
| シクロヘキサン | 110-82-7 | 実験 生態濃縮 | | オクタノール/水 分配係数 | 3.44 | |
| ヘキサン | 110-54-3 | モデル 生態濃縮 | | 生物濃縮係数 | 50 | Catalogic [™] |
| メチルエチルケトン | 78-93-3 | 実験 生態濃縮 | | オクタノール/水 分配係数 | 0.3 | OECD 117、log Kow (オクタノール/水分配係数)、高速液体クロマトグラフィー |
| 酸化亜鉛 | 1314-13-2 | 実験 BCF - 魚 | 56 日 | 生物濃縮係数 | ≤217 | OECD305-生体濃縮度試験 |

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 1950 エアゾール

輸送分類 (IMO) : 2.1 引火性ガス

輸送分類 (IATA) : 2.1 引火性ガス

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物 (法第 57 条の 3)

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質 (表示物質)

労働安全衛生法：施行令別表第 6 の 2 有機溶剤

消防法：第四類第一石油類

高圧ガス保安法：通商産業省告示 139 号 (平成 9 年 3 月 24 日) エアゾール

船舶安全法、航空法：高圧ガス

化管法：第 1 種指定化学物質

海洋汚染防止法：環境有害物質

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

| 成分 | 法律又は政令名称 | 2024年3月31日まで | 2024年4月1日以降 |
|-------------|-----------|--------------|-------------|
| 2,3-ジメチルブタン | ヘキサン | 該当 | 該当 |
| 2-メチルペンタン | ヘキサン | 該当 | 該当 |
| 3-メチルペンタン | ヘキサン | 該当 | 該当 |
| アセトン | アセトン | 該当 | 該当 |
| シクロヘキサン | シクロヘキサン | 該当 | 該当 |
| ヘキサン | ヘキサン | 該当 | 該当 |
| ヘキサン | ノルマル-ヘキサン | 該当 | 該当 |
| メチルエチルケトン | メチルエチルケトン | 該当 | 該当 |
| 酸化亜鉛 | 酸化亜鉛 | 該当 | 該当 |

化管法

| 成分 | 政令名称 | 管理番号 | 区分 |
|---------|---------|------|-----------|
| シクロヘキサン | シクロヘキサン | 629 | 第1種指定化学物質 |

16. その他の情報

改訂情報

- セクション2：注意書き - 保管 情報修正.
- セクション3：成分表 情報修正.
- セクション8：作業環境許容値 情報修正.
- セクション8：OEL登録機関の説明 情報修正.
- セクション10：避けるべき条件 情報修正.
- セクション12：成分生態毒性情報 情報修正.
- セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正.
- セクション12：生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション15：労働安全衛生法の表 情報修正.
- セクション15：毒物及び劇物取締法の表 情報の削除.
- セクション15：化管法の表 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。